

女性部会報告

文化活動委員会副委員長
女性部会 鷺見 文子



女性部会の今年度第1回催し「色彩とフラワー、本格イタリア料理を楽しもう」を7月7日(木)11時半からイタリアンレストラン「カプリッチョ・ダ・アモーレ」で開催いたしました。

まずはカラーカウンセラーのただみよこ先生による簡単な2種類の心理

テストを皆さんにさせていただきました。そのテストからは自分自身に隠れているメッセージを知ることができ、また何気なく選ぶ色が深層心理を投影しているそうです。心理テストの後は「これから頑張りたい人のいいところを気付き」というテーマでお話をいただき、心理テストに基づいた自分の癒される色を認識し、それを日常生活に取り入れる方法などを学びました。自分のいいところに気付きもっと自分らしく元気に生きる、そして、これからより魅力的に自己成長していく上で少しでもお役に立てたのではないのでしょうか。

カラーカウンセリングの後は、茨木24期の中川厚子先生と恒川鈴子先生にご指導していただき、フラワーアレンジの作成です。ただ先生から学んだ色彩を参考にそれぞれ自分にあった色のバラを選んでいただき、ハート型の小箱の中に今流行のブリザードフラワーを入れてステキなアレンジメントが出来あがりました。

昼食は「カプリッチョ・ダ・アモーレ」の本格イタリア料理。特製ランチに舌鼓を打ち、心もお腹も満たされ、花の小箱のお土産付きで楽しく会は終了しました。

今回は37名の皆様にご参加いただきましたが、女性部会の催しを毎回楽しみに来てくださる人も増えてきました。これからもますます山桜会の輪が広がるよう楽しい企画をしていきたいと思ひます。

さて、次回の女性部会催しは講演会を行います。「家庭の中の風水～風水を利用し

て運気を上げよう!～」と題し、鶴見神社宮司で神明流易学宗家の花谷幸比古先生に風水について講演していただきます。どこに何を置いたら運気が上がるか、子供の成績を上げるには…より健康になるには…お金を貯めるには…などを楽しく講演していただきます。男性の方にも喜んでいただけるよう、商売繁盛の秘訣なども教えていただきます。

風水学を学び、お部屋の中から運気をアップしましょう! 運気を上げたい方、是非お聞きください。

また、講演会会場の大手前中・高は2008年の創立120周年記念事業の一環として北館・西館・体育館が建て替えられます。来年春(予定)から第1期工事に入りますが、この機会に思い出の詰まった校舎をもう一度、目に焼き付けてはいかがでしょうか。



色彩とフラワー講習風景

講演会参加の方は、人数確認の為、必ず山桜会までお申し込みください。皆様のご参加をお待ちしております。

平成17年度第2回催し

「家庭の中の風水 ～風水を利用して運気を上げよう!～」

講師 神明流易学宗家 花谷幸比古先生

日時 平成18年2月18日(土) 15時～17時

場所 追手門学院大手前中・高等学校 視聴覚教室

詳しくは山桜会ホームページをご覧ください。山桜会事務局までお問い合わせ下さい。

H P www.yamazakurakai.com/

TEL 06-6940-3481

第2回

山桜古典写真寫真機同好會

香山 恭慶(小83・大中高26)



平成17年8月13日(土)秋山副会長の職場である桜之宮クリニックにて第2回の会合をもちました。お盆前にもかかわらず、亀井哲夫大手前中学校長も参加していただき有意義なひと時をすごすことができました。

淡水魚の権威である亀井校長は、銀塩カメラ最期の巨人といわれるニコンの最新機F6を持参されました。主に水槽の中の淡水魚をマクロ(接写)撮影されているようで、その撮影実例も見せていただきました。魚は目にピントを合わせるのが大切で、それ以外は多少ピントが甘くても大丈夫。とのレクチャーもいただき、まさに目からウロコが落ちる思いでした。

また、本日欠席のメンバーの櫻野さん(茨中14、茨高36)から、ニコンがマニュアルレンズ(ピントを手動で合わせる方式のレンズ)の一部製造をやめた。との衝撃情報を頂きました。

日本光学おまえもか!!

さて最近クラシックカメラ道に目覚めた馬場さん(大中高37)は最近購入されたパールⅢ型を持参され、ジャバラのカメラにはデジカメにはない魅力がある。とすっかりクラシックカメラウイルスにかかっているようです。秋山さんは、診察室の引き出しから続々と美品のライカをとりだしては、それぞ

れのカメラの特徴を、そしてライカのもつ魅力を語っておられました。またハッセルブラッドもご披露いただき、カールツァイスのレンズとスウェーデン鋼を用いたボディのすばらしさには参加者一同とても興味を示し、馬場さんも「次はハッセルがほしくなりました。」と洩らしていました。30年くらい前は、ハッセルブラッドはとても高価なカメラで一式70万円以上していましたが、今ではプロが手放すようになってきたため、我々アマチュアでも安価に手にはいるようになったことはうれしいことです。

私は、コレクションの一端としてコダックのレチナとレチネッテを持参しました。

1935年製の初代レチナから1960年製のⅢCまで、17台を披露しました。小型カメラなので大した重さにはなるまいと思っていましたが、これだけの台数になるとさすがに重く持ち歩くのに疲れました。しかしレチナの持つコンパクトさと手になじむ形は魅力的であり、その種類が多いためついつい台数が増えてしまったことなどを皆さんに力説してしまいました。(笑)西田尚子さん(小85・大中高28)には前回同様、今回もなにかとお世話いただきました。お



いしいお菓子も差し入れていただき感謝しています。同好の士の話は尽きることなく、近くの小料理店での二次会でもビール片手にカメラ談義がいつまでも続きました。